

# おぎやー献金基金

公益財団法人日母おぎやー献金基金  
専務理事 宮崎亮一郎

# 活動の原点と60年を超える歩み

## 「お産を終えた安堵を、寄附というかたちで」

この活動は、鹿児島県伊佐市(旧・大口市)の産婦人科医、遠矢善栄(とおや よしえ)先生の提唱によりはじめました

近所に暮らす重症心身障がい児の三姉妹を「なんとか助けたい」という強い想いを抱き、支援の仕組みづくりに取り組みました

出産を終えた方々の「ありがとう」の気持ちを、寄附という形で未来へつなげたい

その願いが、心身障がい児とそのご家族を支える原点です

この取り組みを、60年以上、途切れることなく続けてきました



「おぎやー献金運動」提唱者  
遠矢善栄先生

# 活動を支えてきた、本人・その家族と現場の力

その後、各地の医療機関や出産に携わる助産師・看護師のみなさまの協力によって、献金の存在と支援の輪を広げてきました

出産の現場で生まれる「ありがとう」の気持ちを、寄附という形で未来の支援につなげていく、無事に出産できたという本人や家族の気持ち

おぎやー献金は、現場で日々命と向き合う医療従事者のみなさまに支えられながら、

心身障がい児とそのご家族を支える活動を続けています



# あゆみ その1

## 心身障がい児施設への助成

通所・入所しているこどもたちのために  
必要とする建物等の施設整備費や備品  
等の購入費用を助成

(リフト付き車両や大型遊具の整備など)

施設助成金……………上限300万円

什器備品等の助成金…上限 50万円

60年で、1,349施設に助成



リフト付き車両  
(千葉県 重心通所さくら)



こどもたちから寄せられた手紙  
(長崎県 多機能型事業所つくし、愛知県 豊橋ゆたか学園)

施設内改修工事  
(山形県 特定非営利活動法人あゆむ)



# あゆみ その1-1



車両贈呈式の記念写真  
(青森県 森田学園)



送迎車両  
(和歌山県 つくしんぼ園)



機能訓練用具一式  
(北海道 おしま地域療育センター)



園庭遊具  
(山形県 ひよこ教室)

低料第三種郵便物承認  
2025年9月16日発行(増刊)

A J U ひかり

この度、公益財団法人日母おぎやー  
献金基金様より助成金の交付を受け、  
念願のリフト付き福祉車両が無事に納  
車されましたことをご報告いたします。  
助成金の贈呈式は昨年5月に開催さ  
れており、本来であれば昨年中に納車  
を予定しておりましたが、車両の生産  
等の関係で、納車時期が1年遅れるこ  
ととなりました。関係者の皆様には長  
らくお待たせすることとなり、心より  
お詫び申し上げます。

新しい車両は、子どもが車椅子やバ  
ギーに乗ったまま乗車できることに加  
え、車内に電源が備え付けられている  
ため、医療的ケアが必要な利用児にも  
対応しております。様々な子どもを迎える  
ことができます。

以前は、車椅子やバギーを使用して  
いる子どもをジュニアシートに乗せ換  
えて送迎を行う必要があつたり、医療  
的ケア児に対応した車両が限られてい  
たり等の問題が、ご本人やご家族、支  
援者にとつて大きな負担となつていま  
したが、今回の寄贈により乗車時の負  
担が大幅に軽減され、安全で快適な送  
迎を行えるようになりました。

ひかりきらきらに通う子どもたちも  
はどの車?新しい車?』と帰りの車を  
気にして職員に尋ねる子や、新しい車  
に乗れるとわかると笑顔になって手を  
あげる子等、納車からしばらくは子ど  
もたちの間でも大盛り上がりでした。  
これからも大切に使っていきます。  
ありがとうございました。



リフト付き車両納車の報告  
(愛知県 ひかりきらきら刈谷 会報誌より)

リフト付き福祉車両納車のご報告  
ひかりきらきら刈谷  
施設長 山口 大輝

# あゆみ その2

## 心身障がいの予防と療育に関する研究助成

### その内容

- ・心身障がいの予防、治療等に関し、特に有意義と認められたもの
- ・胎生期における脳性麻痺に関する病態解明の独創的な研究で、特に有意義と認められたもの

60年で、847研究機関に助成

名古屋朝刊 4/12 (土) 二社



©中日新聞社 著作権は中日新聞社または契約通信社、友好社、外部筆者に帰属します。無断転載、複製、頒布等は著作権法により禁止されています。切り抜きした画像は個人や家庭に準じる範囲でご利用ください。

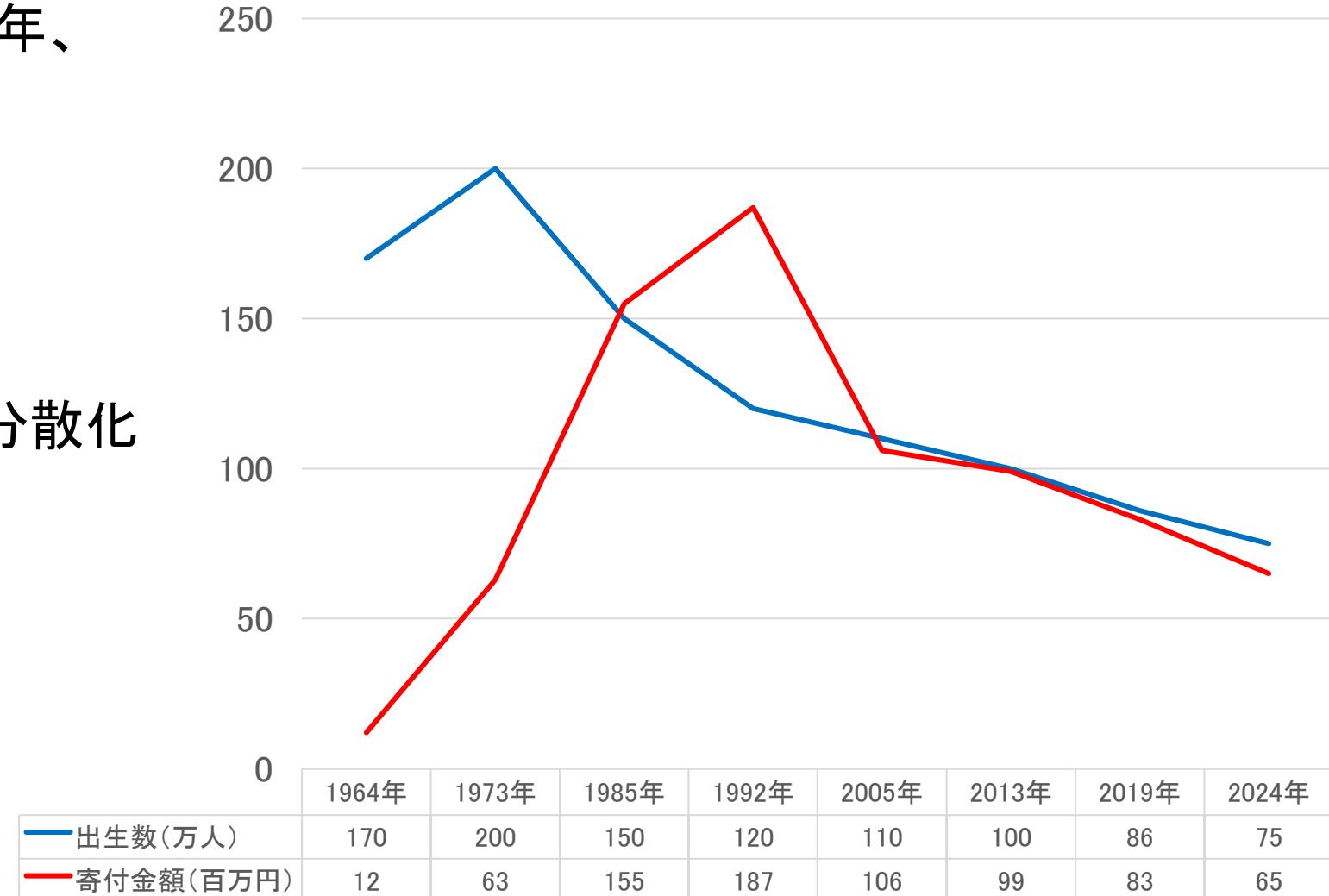
滋賀医科大学へ助成した研究成果に関する新聞記事

# 少子化の波と、寄附の減少

おぎやー献金が発足した昭和39年、日本では年間170万人以上の赤ちゃんが誕生していました。平成4年には寄附金額がピークを迎えたが、その後、少子化の進行、東日本大震災以降の寄附先の分散化など、寄附金は減少しています。

出産数の減少は、寄附の機会そのものが減ることを意味します

出生数と寄附金額の推移(1964年～2024年)



# 想いを形にするには少し手間がかかる 従来の寄附方法

おぎやー献金への寄附は、これまで主に医療機関に設置された献金箱や、専用の郵便振替用紙を通じて行われてきました

しかし、医療機関においては、現金を取り扱うことのセキュリティ面の懸念やスタッフの方の対応などが課題となり、実現できていない施設もありますまた、妊娠中や出産直後の方にとっては、外出を控えたい時期であることも多く、「寄附したい」という気持ちがあっても、ATMに足を運ぶなどの物理的な障壁が行動の妨げとなってしまうことがあります



善意をもっと気軽に、もっと身近に届けられるしくみが必要！

# 社会の変化に寄り添う、新しい寄附のかたち

近年、少子化やキャッシュレス化が進む中で、  
寄附のあり方にも変化が求められています

より多くの方に気軽にご支援いただけるよう、  
QRコードを活用した寄附の仕組み  
を導入しました

スマートフォンから簡単にアクセスできる  
この仕組みは、「寄附のハードルを下げる」  
新しい一歩です

今後も、社会の変化に寄り添いながら、  
支援の輪を広げてまいります



# よりわかりやすく、届けるために

私たちは現在、ホームページの全面改修を進めています

寄附の方法や活動内容を、よりわかりやすく、より多くの方に届けられるように

スマートフォンからの閲覧にも対応し、QRコード寄附との連携も強化しています

今後は、支援先の様子なども発信しながら、「支援の輪が見える」情報発信を目指します



01

クレジットカードで献金

クレジット決済サービスを利用して寄付することができます。

500円	1,000円
2,000円	3,000円
5,000円	10,000円

ご利用案内

- 「おぎゃー献金」インターネット寄付は株式会社ペイジェントが提供するクレジット決済サービスを使用しています。  
ご希望の金額をお選びいただき、「寄付します」ボタンで決済画面へお進みください。お申込みの数は決済画面にてご指定いただけます。
- 「おぎゃー献金」インターネット寄付をご利用いただけるクレジットカードは下記の通りです。  
(注し、一部提携カードにはご利用いただけないものもございます。)

VISA MasterCard JCB Diners Club

<https://www.ogyaa.or.jp>



# 支援の輪は、企業にも 社会全体で支えるしくみへ 多くの企業からの賛同！

CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)やSDGs( Sustainable Development Goals:より良い世界を作るための目標)への取り組みの一環として、

- ・自動販売機の売上のおよそ一部を寄附に充てる
- ・妊婦さん向け医療用品や出産祝い商品の売上のおよそ一部を寄附に充てる
- ・クレジットカード利用で貯まるポイントを寄附に活用する
- ・社内イベントの収益を寄附に充てる

企業の皆さんからは、「実際に自分が出産・子育てを経験し、この活動の原点に共感した」

「助成先のお子さんたちの笑顔をみることができ、今後もより一層の協力していきたい」といった声も寄せられています



# その気持ち、イマすぐ力タチへ

60年以上、たくさんの「ありがとう」が  
寄附という力タチで集まり、  
心身障がい児とそのご家族を支える  
活動を続けてきました

これからも、  
社会の変化に寄り添いながら、  
支援の輪を広げてまいります

ぜひ、  
皆さまのご協力・ご支援をお願いいたします

その気持ち、イマすぐ力タチへ

